

## 第40回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

日時：R5.4.25（火）16:30～17:10

場所：本館5階知事応接室

（進行：健康福祉部 坂本総括審議員）

### 1 開会

### 2 本部長訓示（蒲島知事）

※別紙「第40回熊本県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 本部長訓示」により訓示

### 3 議事

#### （1）本県の感染状況について

資料1により説明（健康危機管理課 椎場課長）

#### （2）5類変更後の県の対応について

資料2により説明（健康福祉部 沼川部長）

#### （3）その他

##### 【発言】

##### ●木村副知事

県内での初発事例から3年2か月が経ち、5類変更までできました。本部長（知事）の訓示にもありましたように、新型コロナウイルス感染症という疾病の性質は大きく変わってきましたが、県民の皆様の中には心配や不安を抱えた方もいらっしゃいます。

簡単な飲み薬ですぐに回復する病気ではないということも事実ですので、最後まで県民お一人お一人に寄り添っていく必要があります。

移行期間後は、季節性インフルエンザと同じような対応に完全に移行することになります。混乱が生じることなく円滑に移行できるよう、各部においては、例えば、学校、保育所など、それぞれ所管するところのフォローをしっかりと行っていただきたいと思えます。

これまでの仕事ぶりにも感謝いたします。

##### ●田嶋副知事

私からも、感謝とお願いが1つずつあります。

これまで3年余り、政府の対応を含め先行き不透明な中、混迷することもあったかと思いますが、職員の皆様は最前線で、県民の安全、そして経済の維持を支えていただいたことに感謝申し上げます。

5月8日に新たなフェーズに移行しますが、これまでの3年間を検証いただき、できたことやできなかったことを整理し、次のフェーズ、そして次の困難に備えていただきたいと思います。

●知事

私からも、御礼と今後の活動について申し上げます。

まず、この3年という期間は、県民、そして私にとっても初めての経験でした。最初のときの対応の難しさと比べ、直近では感染者数が随分と増えましたけど、皆様が冷静に対応いただいたことで、ここまで来られたと思います。今後ウイルスがどう変化していくか分からないので、しっかりと注意しながら対応していきたいと思っています。

それから、職員の皆様も、これまで対応いただき、ありがとうございます。そしてこれからも、しっかりと県民に寄り添って対応していただきたいと思います。